

第1回自動車整備技術の高度化検討会 スキャンツールに対応した研修の創設

日整連
平成23年8月2日

1. 経緯

昨年度、「汎用スキャンツール普及検討会」の下、汎用スキャンツールの普及促進について「汎用スキャンツール普及促進分科会」（事務局：日整連）において検討が進められ、スキャンツールに関する研修の創設について次のとおりとりまとめた。

(1) 「スキャンツール基本研修」の創設

汎用スキャンツールの操作・活用が一般的に行えるレベルを目指す。

研修内容は、スキャンツールの未経験者やスキャンツールの操作・活用方法がわからない方を想定したものである。

研修開始時期は、平成24年度に開始する計画とする。

(2) 「スキャンツール応用研修」の創設

汎用スキャンツール等を使用した高度な診断・整備技術の習得と基幹的な新技術に対応した技術習得を目指す。

研修内容は、原則「スキャンツール基本研修」修了者を対象とすることから、基本研修からのステップアップを想定したものである。

研修開始時期は、「スキャンツール基本研修」が開講されてから1年遅れで開講することとし、平成25年度に開始する計画とする。

2. 課題

上記の研修を実施するためには、次のような課題が考えられる。そのため平成23年度に検討を開始する必要がある。

(1) 研修用テキストの内容について

標準仕様の汎用スキャンツールにおいても、メーカーによって機器の取り扱い方法が違うのではないかという意見もあることから、全ての機器に対応できるような研修用テキストにするには掲載内容、掲載方法について検討が必要である。また、メーカーの資料について、使用許諾の協力が必要である。

(2) 指導員の育成について

基本研修の準備段階として指導員の育成が必要であるが、講習会を実施するにあたり、使用する機器の選定、使用する機器メーカーの協力等、講習会の実施方法についての検討が必要である。

以上